

No.147  
**県議会**  
**とちぎ**

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20  
 TEL 028-623-3772  
 FAX 028-623-3755  
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp  
 HPアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>

# 第389回通常会議(令和4年9月16日～10月19日)

## 栃木県一般会計補正予算、職員の定年等に関する条例の制定等を可決

第389回通常会議では、知事から栃木県一般会計補正予算など22件の議案の提出及び5件の報告があり、審議に当たり質疑・質問や委員会審査が行われました。

また、議員から地方財政の充実・強化を求める意見書など4件の議案が提出され、決算特別委員会に付託され審議中の議案・認定を除いた23件が原案のとおり可決されました。

請願・陳情は、1件が採択、3件が継続審査となりました。

補正予算においては、新型コロナウイルス感染症への対

応として、引き続き、医療提供体制及び検査体制の充実を図るとともに、自然災害が頻発していることを踏まえ、中小河川の堆積土除去等を推進するほか、エネルギー価格等の物価高騰に伴う影響を緩和するため、医療機関、中小企業者や農業者等に対する支援を行う事業や、G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催に向けた事業などが盛り込まれました。

10月19日の散会日には、知事から令和5年度の政策経営基本方針及び当初予算編成方針の説明がありました。

- ### 可決された主な議案
- 令和4年度栃木県一般会計補正予算(第5号及び第6号)
  - 職員の定年等に関する条例の制定について
  - 職員の給与に関する条例等の一部改正等について
  - 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
  - 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について
  - 栃木県行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について
  - 栃木県手数料条例の一部改正について

- ### 可決された意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
  - きめ細かな指導ができる教育環境を整備するための意見書
  - 女性の活躍を強力に推進するための支援を求める意見書

- ### 採択された請願
- 県立高等学校における「通級による指導」実施に関する請願書

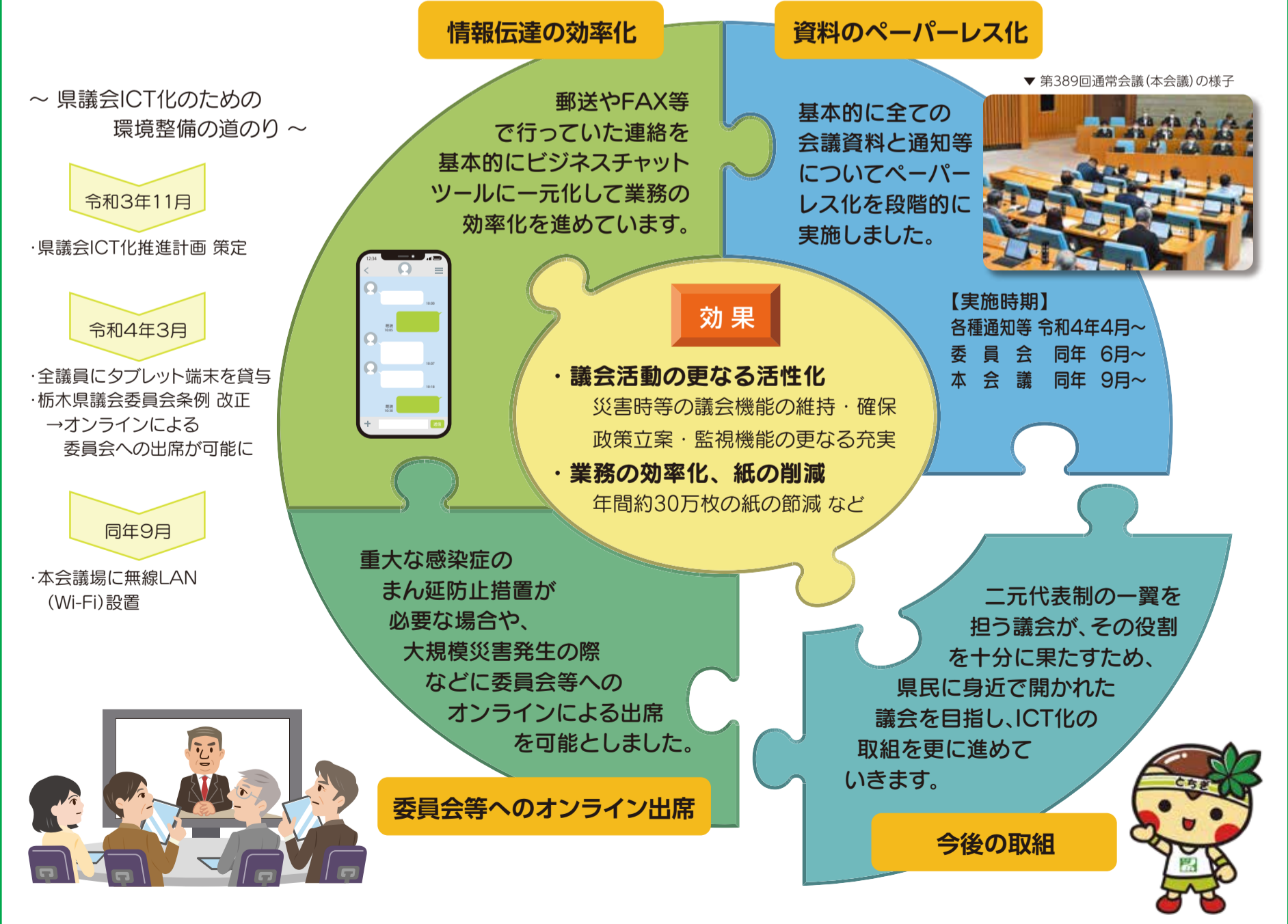


8月26日に開催された「いちご一会とちぎ国体栃木県選手団結団式」であいさつする山形修治議長

## とちまるくんのなるほど! 県議会 ～県議会のICT化について～



県議会では、大規模自然災害や新たな感染症が発生した際に県民の安全・安心を確保するための迅速な対応が求められることや、社会全体においてICT化の推進が求められていることなどを踏まえ、令和3年度に**栃木県議会ICT化推進計画**を定めて、タブレット端末や会議システムの導入など議会ICT化のために必要な環境整備を行ってきました。今回は、現在進めている主な取組を紹介します。





# 第389回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容



代表質問 (9/21)  
いわさき まこと  
**岩崎 信**  
(とちぎ自民党)  
[芳賀郡]



## ○G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催

**問** G7広島サミットにおける男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催に向け、受入体制に万全を期すとともに、会合を通して本県の魅力を国内外に発信するため、準備を早急にすすめていく必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか。

**答**【知事】本会合の開催は、男女が共に輝く「とちぎ」の実現に向けて、大きな弾みとなるものであり、会合に向けた準備を限られた期間で着実に進めるため、総合政策部内に推進室を設置するほか、市町や関係団体等で構成する協議会を立ち上げるなど、オールとちぎでの推進体制を確立し、会合の成

功に向け全力で取り組む。

## ○海外でのトップセールス

**問** 知事は、12月にベトナム、タイを訪問して3年ぶりにトップセールスを行うことを表明しているが、コロナ禍による渡航制限緩和後初となる海外でのトップセールスにどのように取り組むのか。

**答**【知事】政財界有力者やメディア関係者を招待したレセプション等により本県の魅力・実力を精力的にPRし、誘客促進や農産物の販路開拓に取り組むとともに、特に県内企業の進出意欲が高いベトナムとは、相互理解を深め、行政間の連携強化を図り、進出企業の円滑な事業活動や投資拡大の支援につなげるなど、本県の様々な強みを積極的に発信し、「世界から選ばれるとちぎ」の実現に向け全力で取り組む。

**このほか** 第7波を教訓としたコロナ対策、新たな時代と課題を踏まえた県の組織改編など



一般質問 (9/21)  
やまだ みやこ  
**山田 みやこ**  
(民主市民)  
[宇都宮市・上三川町]



## ○女性相談支援センターの設置に向けて

**問** 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が2024年度から施行される。福祉事務所等との連携による一貫した支援が重要であり、職員の専門性と経験が更に必要になると考えるが、女性相談支援センターの設置に向け、どのように取り組むのか。

**答**【県民生活部長】外部有識者等の意見も取り入れながら、法に基づく基本計画の策定を進めるとともに、関係機関や民間団体との連携を強化する。また、専門的知識の習得や実践的な研修等を通して、支援担当職員や婦人相談員から名称変更となる女性相談支援員の更なる資質向上を図る。

## ○那須特別支援学校の寄宿舎閉舎の撤回

**問** 県教育委員会は那須特別支援学校の寄宿舎を来年3月末で閉舎することとしたが、閉舎ありきの一方的な進め方という印象が強い。社会的自立の一翼を担う寄宿舎の閉舎を撤回し、存続を図る必要がある。また、入舎する際の通学距離と時間及び通学困難の定義を示すことも必要と考えるがどうか。

**答**【教育長】寄宿舎への入舎は、通学時間や距離などから個別に判断しており、空き室が出た場合には教育的入舎も受け入れてきた。その後、通学困難者が減少し、スクールバスの増車で対応可能と判断し、閉舎することとした。引き続き、保護者及び関係者の意見を聞くとともに、県の考え方を丁寧に説明していく。

**このほか** 性差への理解促進からジェンダー平等の意識の醸成、医療的ケア児の支援など



一般質問 (9/21)  
にしむら しんじ  
**西村 しんじ**  
(公明党)  
[小山市・野木町]



## ○本県カーボンニュートラルの推進～各主体との連携による目標達成に向けた取組～

**問** 県は、カーボンニュートラル実現に向けたロードマップを策定し、温室効果ガス排出量を2030年までに5割削減、2050年に実質ゼロを目指している。県民・事業者・行政が一体となったオールとちぎ体制によるカーボンニュートラルの実現に向けて、本県の強みを生かしつつ、各主体と具体的にどう連携して取り組むのか。

**答**【知事】基本理念や各主体の責務と役割を明示し、県が実施する基本的な施策を位置付ける条例を制定し、オールとちぎで取り組む機運の醸成を図る。また、産学官金による気候変動対策連携フォーラムなどを通じて、目標達成のビジョンや役割等を共有し、

各主体による具体的・積極的な取組につなげていく。

## ○社会の形成に主体的に参画しようとする力を育成する主権者教育

**問** 2019年の18歳意識調査で「自分で国や社会を変えられると思う」との回答は、2割弱で、海外と比べ断然低い状況である。今後、社会の形成に主体的に参画し、持続可能な社会づくりに向けに必要な力を育成して、若者の政治参加と投票率向上にもつなげる主権者教育をどう推進するのか。

**答**【教育長】高校生によるまちづくりの提案など様々な課題を自分の問題として考えさせ、主権者の自覚を高める教育を実施してきた。また、投票率向上に向け、市町議会等で実際の議会や選挙を体験し、将来の投票行動を促す取組も推進している。今後とも、主権者教育の充実に努めていく。

**このほか** 災害に強いとちぎづくり、経済の成長と雇用・所得拡大につながるデジタル人材の育成など



一般質問 (9/26)  
ひがの よしゆき  
**日向野 義幸**  
(とちぎ自民党)  
[栃木市]



## ○災害等の危機事象への対応体制の確保

**問** 豪雨災害や大規模地震、新たな感染症の流行など危機事象が頻発化・多様化する中、危機事象に対する取組を強化し、盤石な体制を確保する必要があるが、どう取り組むのか、また、国難級の災害への対応強化のため、総合防災拠点をどう整備していくのか。

**答**【知事】迅速かつ円滑な情報共有や連携が重要であり、次年度には危機管理防災局を新設し、危機管理上の総合調整力の充実に努める。また、県総合運動公園を総合防災拠点と位置づけ、広域的な救援物資の集積拠点機能や応援部隊の活動拠点機能等

が効果的に発揮できる体制等の検討に加え、防災学習・教育施設を整備するなど、いかなる危機事象に対してもオール栃木体制で取り組む。

## ○災害時の医療提供体制の確保

**問** 感染拡大による医療ひっ迫と同時に大規模な自然災害が発生した場合でも、医療提供体制は確保されているのか、また、災害派遣医療チーム(DMAT)の養成や災害拠点病院等の機能強化などにどう取り組むのか。

**答**【保健福祉部長】医療提供体制の更なる強化のため、DMATの養成や同隊員への感染症対応に係る研修・訓練の実施の検討のほか、災害拠点病院等に人工呼吸器等の整備を促進する。また、国が創設予定の広域での医療人材の派遣の仕組み等の活用も検討する。

**このほか** 農村地域の防災・減災対策の強化、災害時の学びの保障など



一般質問 (9/26)  
ほほ きんいちろう  
**保母 欽一郎**  
(県民)  
[栃木市]



## ○とちぎの人口減少問題対策

**問** 県及び各市町は人口減少問題対策を推進してきたが人口の減少に歯止めが掛かっておらず、とちぎの将来が危惧される。各市町の人口減少をどう捉え、提言してきた近隣市町の連携による「地域ブロック化構想」についてどう考えるか。

**答**【知事】市町の主体的取組の推進や市町の連携による課題解決は重要と考える。このため、ブロック別市町村長会議等の場で地域間連携に係る意見交換や市町の範囲を超える広域的な取組を支援する事業の活用を働き掛けていく。

**このほか** 今後の新型コロナウイルス感染症対策、とちぎの公立学校の教育環境の充実など

## ○栃木市に甚大な浸水被害を引き起こした河川への治水対策などの進捗状況

**問** 平成27年9月関東・東北豪雨と令和元年東日本台風において栃木市に浸水被害を引き起こした巴波川と永野川の改良復旧事業の進捗状況と今後の対応について伺う。また、対策を要望してきた西前原排水機場の非常用電源対策案の進捗状況について伺う。

**答**【県土整備部長】両河川の改良復旧事業については、事業推進に積極的に取り組んでいるところであり、一部に用地協力が得られていない箇所があるものの、市の協力も得ながら、粘り強く地権者と交渉し、着実に事業を推進していく。

【農政部長】送電が停止した場合に、別の変電所から電力供給を受けられる予備電源の導入について、国庫補助事業の対象とするよう国に協議し、了承を得られた。予備電源導入を早期に実施できるよう市を支援していく。



一般質問 (9/26)  
おかべ みつこ  
**岡部 光子**  
(とちぎ自民党)  
[佐野市]



## ○男女が共に輝くとちぎの実現に向けて

**問** 固定的な性別役割分担意識はいまだに社会に根強く残っており、男女が共に輝くとちぎの実現に向け、全ての県民に対して、意識変革を促し、行動変容につなげていく取組を充実・強化していくことが非常に重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。

**答**【知事】男性の家事参加を促進する施策などを積極的に展開し、固定的な性別役割分担意識の払拭と行動変容につなげていくとともに、開催が決定されたG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合を更なる理解促進の契機とし、男女が共に輝くとちぎの実現

に全力で取り組んでいく。

## ○県南西部地域における広域幹線道路の整備

**問** 人口減少や少子高齢化が進む中、地域の持続的な発展や、県民の安全・安心の確保のために、広域幹線道路の整備は欠かせないものであるが、佐野市が関係市町とともに以前から要望している県南西部地域における渡良瀬川への架橋を含む広域幹線道路の整備についての考えを伺う。

**答**【県土整備部長】「とちぎの道路・交通ビジョン2021」において、栃木県南西部と群馬県東部を連携する広域道路を位置付けたところである。実現に向けては様々な課題の整理が必要であるため、佐野市及び関係市町で構成する研究会の考えを伺った上で、群馬県・埼玉県と本路線の整備に関する意見交換を行っていく。

**このほか** 小児・AYA世代のがん対策、金融教育の充実など

注 ( )は所属党派 / (とちぎ自民党)とちぎ自民党議員会、(民主市民)民主市民クラブ、(公明党)公明党栃木県議会議員会、(県民)県民クラブ、(静和)静和の会 / 会派名は質問日時点 / [ ]は選挙区



# 質疑・質問日 令和4年9月21日、26日、28日



一般質問 (9/26)  
かねこ むさし  
**金子 武蔵**  
(とちぎ自民党)  
[宇都宮市・上三川町]



## ○憲法改正に対する知事の見解

**問** 私は、真の地方自治を確立する観点からも憲法改正は必要と考えており、機運醸成が重要であると思う。知事は、これまでの活動や経験から真の地方自治の実現に強い思いを持っていると思うが、知事福田富一としての憲法改正に対する明確な所見を伺う。

**答** 【知事】 地方自治を預かる者として、憲法における地方自治の本旨の明確化や地方自治に関する規定の充実等について、国会で十分に議論を尽くし、国民の理解を得る必要があると考えている。今後とも、憲法改正に関しては、全国知事会などを通して、地方自治の在り方を優先して議論するよう求めていく。

## ○自衛隊と連携した防災教育の必要性及び積極的な実施

**問** 防災教育の重要性が高まる中、危機管理や非常時のノウハウと経験がある自衛隊と連携し、中学校や高校における防災教育の内容を充実させる必要があると考えるが、今後の学校教育における自衛隊と連携した防災教育の必要性及び積極的な実施について伺う。

**答** 【教育長】 県教育委員会では、宇都宮地方気象台と連携した学習と訓練を実施し、また、自衛隊を学校に招いて講話や講習なども実施してきた。今後とも、専門的知見を持つ関係機関と連携するとともに、自衛隊の有する非常時のノウハウ等も活用しながら、学校教育におけるより実践的な防災教育の充実を図っていく。

このほか 北方領土、竹島、尖閣諸島などに関する領土教育の推進、就職氷河期世代の就労支援など



一般質問 (9/28)  
よしば しげる  
**吉羽 茂**  
(とちぎ自民党)  
[宇都宮市・上三川町]



## ○高齢者がいきいきと暮らすことができるとうちぎの実現

**問** 新型コロナウイルス感染症対策による高齢者等への行動制限の要請は、命を守る一方、社会との交流機会の減少による健康状態の悪化が懸念されている。新型コロナウイルスとの共存が求められる社会において、高齢者がいきいきと暮らすことができるとうちぎの実現にどのように取り組んでいくのか。

**答** 【知事】 人との交流をもたらし通いの場の充実・強化や地域における支え合い活動の活性化に取り組むなど、感染防止対策を講じながら、市町や関係機関と連携して高齢者の健康維持や社会参加を促進し、高齢者が健

康でいきいきと暮らせるとちぎの実現を目指していく。

## ○空き家対策

**問** 今後更に増えると予想される空き家は、景観・防災・治安の面で悪影響が懸念され、空き家問題は喫緊の課題であり、特に所有者不明の空き家への対応が大きな課題となっている。そこで、空き家にしない取組も重要と考えるが、どのように空き家の発生抑制に取り組んでいくのか。

**答** 【県土整備部長】 各市町の空き家対策が円滑に進むよう支援を行うほか、所有者不明の空き家の発生を防ぐため、建物の相続等が円滑に進むよう関係団体とともに権利関係の情報整理や将来の考え方の検討を促す冊子の作成・周知を行い、普及啓発にも取り組んでいく。

このほか 子どもの貧困対策、農地の担い手への円滑な継承など



一般質問 (9/28)  
そうま まさじ  
**相馬 政二**  
(静和)  
[那須塩原市・那須町]



## ○カンセキスタジアムとちぎの芝管理業務委託問題の検証結果と再発防止策

**問** 特定指導法人である公益財団法人栃木県スポーツ協会が実施したカンセキスタジアムとちぎの芝管理業務委託の公募型プロポーザル審査では、審査委員の合計評価が最高点ではない事業者を選定しており、透明性に欠けた審査がなされたと感じている。本件の検証結果と再発防止策について伺う。

**答** 【知事】 会計規程を逸脱するような行為はなかったが、選定基準の明確化等に課題があった。まずは、県としてもマニュアルの見直しを行い、各特定指導法人と共有し、透明性の確保を図った。今後とも特定指

導法人が県民の信頼のもと役割を果たせるよう適切に指導を行う。

## ○那須特別支援学校の寄宿舎閉舎

**問** 那須特別支援学校の寄宿舎閉舎について、保護者等からは、学校教育法第78条に寄宿舎の設置義務規定があると主張されており、閉舎への理解が十分に得られていない。県教育委員会が閉舎と判断した根拠は何か。また、同条の解釈について過去の裁判例などを踏まえた所見を伺う。

**答** 【教育長】 児童生徒の通学保障のために寄宿舎を設置したが、スクールバスの増車により対応可能と判断し、閉舎することとした。引き続き丁寧に説明していく。学校教育法第78条に関し、平成25年の大阪高裁判決では、寄宿舎設置の趣旨は、児童生徒の通学保障にあると解するのが相当とされていると承知している。

このほか ネーミングライツによる自主財源の確保、農業系指定廃棄物への対応など



一般質問 (9/28)  
せきや のぶゆき  
**関谷 暢之**  
(とちぎ自民党)  
[那須塩原市・那須町]



## ○栃木県制150年に描くとちぎの未来～県民と描くとちぎの未来～

**問** 栃木県制150年を迎える来年は、郷土愛の醸成や本県の魅力発信の取組など、今後の県政発展や県民の元氣創出につながる記念事業を全県的に展開すべきと考えるが、県民とともに祝う栃木県誕生150年を記念した事業にどのような方針で取り組む考えか。

**答** 【知事】 栃木県誕生150年を迎える来年は、郷土への愛着や地域の活力を更に発展させ、将来に継承する絶好の機会であり、県民の日を中心に様々な事業を展開していく。また、「県民の日実行委員会」を開催し、県民からのアイデアも募りながら企画等の検討を進め、県制150年記念の行事にオール栃木体制で取り組んでいく。

## ○公立中学校の部活動の地域移行に向けた対応について

**問** 部活動の地域移行には、相当な数の課題があるが、主役は子どもたちであるとの本質を確実に担保すべきである。改革集中期間のスタートまで時間が限られる中、部活動の地域移行に向けた本県の準備状況と取組の方針を伺う。

**答** 【教育長】 実践研究の成果の普及、コーディネーターの派遣など、地域移行に向けた各市町の取組を支援している。また、年度内の推進計画策定に向けて作業を進めている。今後、部活動の持つ教育的意義を十分踏まえながら、市町教育委員会と緊密に連携し、生徒にとって望ましい持続可能で多様なスポーツ・文化活動が展開できる環境の整備に向け取り組んでいく。

このほか インクルーシブ教育システムの推進を見据えた特別支援学校の充実・強化、アフターコロナを見据えた観光振興戦略など

## 県議会の活動の様子をご覧ください。

### 県議会の傍聴

本会議や委員会はどこでも傍聴できます。傍聴を希望される方は、簡単な手続きをしていただだけで入場できますので、ぜひおこし下さい。

※傍聴人数を制限しています

### 会議録の閲覧

県議会ホームページでは、過去の本会議や常任委員会、特別委員会等の会議録をご覧いただけます。

※傍聴手続や会議録の閲覧方法などの詳細は、県議会ホームページでご確認ください

### 県議会ハイライトの放送

県議会広報番組「県議会ハイライト」(とちぎテレビ)では、今回の質疑・質問の様子など、県議会の活動内容をダイジェストで紹介しています。



【次回の放送予定】

12月4日(日)  
17時30分～18時00分

※議会中継サイトでは、テレビ放送の約2週間後にご覧いただけます

### 生中継の視聴

(テレビ、ラジオ、インターネット)

本会議(質疑・質問)や予算特別委員会(総括質疑)は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、議会中継サイト(インターネット)で生中継を行っています。

### インターネットでの録画映像等の視聴

議会中継サイトでは、過去の本会議の映像や県議会広報テレビ番組等をご覧いただけます。

栃木県議会 ホームページ



いろいろな方法で県議会の活動内容がチェックできます。



栃木県議会 議会中継サイト



# 常任委員会の主な活動

6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に属する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第389回通常会議において付託された議案について、9月16日、9月29日、10月19日に審査及び採決が行われました。また、10月27日に決算特別委員会から調査依頼された認定案件等について、調査しました。

## 県政経営委員会

付託議案8件の審査を行いました。  
また、G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催や新たな時代と課題を踏まえた組織改編などについて報告を受け、質疑を行いました。

## 生活保健福祉委員会

付託議案3件の審査を行いました。  
また、栃木県立博物館文化観光拠点計画や健康長寿とちぎづくりに関する報告書などについて報告を受け、質疑を行いました。

## 農林環境委員会

付託議案2件の審査を行いました。  
また、カーボンニュートラル関連の取組状況や新たな「いちご王国・栃木」戦略などについて報告を受け、質疑を行いました。

## 経済企業委員会

付託議案6件の審査を行いました。  
また、鹿沼インター産業団地の第1期予約分譲の実施や新型コロナウイルス感染症対策融資(伴走支援型貸付)の融資限度額引き上げなどについて報告を受け、質疑を行いました。

## 県土整備委員会

付託議案5件の審査及び6月から8月にかけて実施した県内調査(市町要望)の総括を行いました。  
また、栃木県緊急輸送道路ネットワーク計画の改定について報告を受け、質疑を行いました。

## 文教警察委員会

付託議案2件、請願1件、陳情1件の審査及び令和2年度特定テーマ提言事項の取組状況の調査を行いました。  
また、いちご一会とちぎ国体 栃木県選手団成績概況等や特殊詐欺抑止対策支援事業などについて報告を受け、質疑を行いました。

# 県議会トピックス

## ●いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催

いちご一会とちぎ国体(第77回国民体育大会)が10月1日から11日までの11日間、また、いちご一会とちぎ大会(第22回全国障害者スポーツ大会)が同月29日から31日までの3日間、県内各地を会場として開催されました。

国体の栃木県選手団の結団式(8月26日開催)及び解団式(10月11日開催)、障害者スポーツ大会の栃木県選手団の結団式(10月12日開催)等に議長が出席しました。

本県の代表選手が活躍し、国体では男女総合成績第2位、障害者スポーツ大会では過去最多の144個のメダルを獲得するなど輝かしい成績を収めました。

また、第389回通常会議においては、開議日と散会日に議員全員と知事をはじめとした執行部全員が両大会をPRするポロシャツを着用し、開催に向けて機運の醸成を図りました。



▲いちご一会とちぎ国体栃木県選手団解団式の様子



▲いちご一会とちぎ大会栃木県選手団結団式で手話を交えてあいさつする山形修治議長



▲第389回通常会議開議日の様子



# 決算特別委員会

令和3年度の決算を審査するため、9月28日に決算特別委員会が設置され、議長から3件の議案と8件の認定が付託されました。

10月21日に、公営企業会計の認定等10件の審査及び採決を行い、普通会計の概要の説明を受けました。

10月27日には、各常任委員会において普通会計の決算認定について調査し、11月8日に各常任委員会の調査結果を踏まえて審査と採決を行いました。



▲決算特別委員会の審査の様子

# 第388回臨時会議

第388回臨時会議が8月3日に開催されました。

直面する原油価格・物価高騰の影響を緩和するため、経済的に厳しい環境に置かれている世帯をはじめ、中小企業・小規模事業者、農業者や運送事業者等に対する支援を行うとともに、家庭や事業所における省エネ設備等の導入を促進するほか、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大への対応や、豚熱の発生防止策の強化に関する助成などを講じるために編成した令和4年度栃木県一般会計補正予算(第4号)等が上程され、所管常任委員会の審査を経て原案のとおり可決されました。

# 議会議事堂へようこそ

小学生などの社会科見学や10名以上の団体の皆様を対象に、議会議事堂や県庁舎の見学案内を行っています。

議事堂では、6階傍聴席からの議場見学や1階展示コーナーでの案内ビデオの視聴などができます。

【団体見学の問合せ先】  
広報課県民プラザ室  
☎028-623-3757



▲傍聴席から見た議場の様子

# 開会中の通常会議

- 11月30日(水) 本会議(開議、議案上程)
- 12月 2日(金)、6日(火)、7日(水)  
本会議(質疑・質問)
- 9日(金) 常任委員会
- 14日(水) 予算特別委員会(総括質疑)
- 15日(木) 常任委員会、予算特別委員会(採決)
- 19日(月) 本会議(採決、散会)

※予算特別委員会(採決)は午後2時、  
その他は午前10時開始予定。  
日程は変更となる場合があります。  
詳細は県議会HPをご覧ください。

